

2017年6月20日

自然環境保全「SUBARUの森」活動をスタート ～北海道・美深試験場テストコース内の森林整備に着手～

- 2017年4月1日付で「SUBARU環境方針」*1を改定
- 具体的取り組みとして、北海道・美深試験場内に所有する森林の整備・保全活動に着手
- 美深町など地元自治体との連携等、社会及び地域貢献活動との連携による森林整備・保全活動を展開

SUBARUは、社名変更と同時の2017年4月1日付で、従来の「環境方針」を「SUBARU環境方針」*1に改定し、その新方針に基づく具体的活動として、自然環境保全「SUBARUの森」活動に取り組むことを決定しました。

新しい「SUBARU環境方針」では、“『大地と空と自然』がSUBARUのフィールド”と宣言し、自動車と航空宇宙事業を柱とする当社の事業フィールド、すなわち『大地と空と自然』が広がる地球の環境保護が、社会と当社の未来への持続性を可能とする最重要テーマとして考え、取り組むこととしています。

この「SUBARU環境方針」に基づく、具体的取り組みとして「SUBARUの森」活動をスタートします。

「SUBARUの森」活動は、当社事業所内及び周辺森林において、植林・間伐・自然保護などの森林整備・保全活動を行うもので、当社のスバル研究実験センター美深試験場（北海道中川郡美深町）敷地内に所有している約100ヘクタールの森林について着手し、あわせて地元である美深町との連携など、地域社会とも連動した森林整備・保全活動として展開していくことも視野に検討を進めていきます。

今後も、「存在感と魅力ある企業」を目指すという経営理念のもと、「安心と楽しさ」という価値を提供しながら、より良い社会・環境づくりに貢献し、持続可能な社会の実現を目指していきます。

*1: 詳しくはこちらをご覧ください <https://www.subaru.co.jp/outline/vision.html>